

宇発第 3693 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

宇治田原町長 奥 田 光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で照会のありました上記の件について別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

京都府宇治田原町

- (1) 道路整備の中期計画の見直しにあたっては、中山間地の道路整備の実情を踏まえ、地域間格差の是正など地域の道路整備に対する幅広いニーズを汲み取り、地方の声に応えるべく、必要な道路整備や交通安全対策、維持管理が停滞することなく、着実に推進できるように必要な財源を確保すること。
- (2) 買い物、通勤・通学など、日常生活を支える生活幹線道路の整備、通学路の歩道整備やバリアフリー化、交通安全対策を着実に進めること。また、地方道路整備臨時交付金を引き続き存続させること。
- (3) 新名神高速道路の「当面着工しない区間」については、路線の重要性に鑑み、現在事業中の整備区間に併せ、早急に事業着手すること。
- (4) 地方公共団体が管理する、今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、長寿命化修繕計画を策定することにより従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図られているが、修繕及び架け替え費用に対する補助制度を拡充するとともに道路規格を緩和（現況幅員での架け替え）すること。
- (5) 地方道路の交通量に見合った道路規格の運用をすること。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

◎本町では町の中心地に位置する砂利採取跡地（約５１ha）を「新都市創造ゾーン」と位置づけ、業務系を基本とした開発誘導を促すため、当該地域への進入路となる全幅１２mの町道「南北線」の整備に着手、また、当該地域を対象地域とした「宇治田原町新市街地土地利用促進条例」を制定するなど、本町が自主自立への大きな役割を担う新市街地として整備を進めているところです。

当該地域の拠点整備は、関西文化学術研究都市における研究・開発機能と連携を図った産業機能の導入につながるほか、京都府南部地域からの企業流出を防止するとともに、新たな企業誘致の企業誘致の受け皿となりうるものであり、また、将来的に新たな雇用機会の創出が期待されるなど、本庁のみならず、府域全体の産業基盤としてその活性化に寄与するものです。

◎本町には鉄道が通っていません。工業団地へ通勤する人の大部分が自家用車を使用しており、京田辺市方面から宇治田原町へつながる国道３０７号を利用しています。普段２０分で来られるところ、通勤時には倍の４０分掛かっている状態です。

○課題

◎新名神高速道路の大津市～城陽市間は、平成１５年１２月の国土開発幹線自動車道建設会議において抜本的見直し区間とされ、また、平成１８年２月の国幹会議では、事業実施に係る判断が先送りされる結果となりました。こうした中、平成２０年２月には、三重県亀山ＪＴＣ～滋賀県草津田上ＩＣ間が開通したことにより、本町内においても国道３０７号の通行車両の大型化、交通量の増加などの影響が出ており、早期の全線開通が望まれるところです。

これまでより本町では、新名神高速道路を活用したまちづくりを推進しているところです。道路ネットワークは全線通して初めてその機能を発揮するものです。１日も早い全線着工、全線開通のため、一層の事業促進を強く要望します。また、高速道路のネットワーク化と合わせて、インターチェンジへのアクセス道路の整備も強く要望します。

◎国道３０７号のバイパス道路として町道宇治田原山手線の建設を国の事業として取り組んで頂きたい。

②－２ 地域の目指すべき将来像

京都府宇治田原町

本町では、近年の厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、企業立地の促進が地域活力の基盤となるという考え方のもと、「宇治田原町工業団地企業立地促進条例」などにより、企業誘致を重要視し、その促進に努めています。

しかしながら、インフラ整備が遅れている中山間部は都市基盤整備が進んでいる都市部と比較し、立地に当たっての企業負担が大きい現状にあります。したがって、インフラ整備特に新名神高速道路の整備促進、国道３０７号・府道宇治木屋線・府道宇治田原大石東線の改良促進、及び都市計画道路宇治田原山手線の整備を促進して頂きたい。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

京都府宇治田原町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①地域活力の向上	①新名神高速道路の整備促進	①地方間のネットワーク化	
②総合的な交通安全対策	②国道307号の改良促進、都市計画道路宇治田原山手線の整備促進	②国道307号の渋滞緩和	
③総合的な交通安全対策	③府道宇治田原大石東線の改良促進(歩道設置)	③小中学生の安心安全な通学	